

皆さんは「百日ぜき」という病気を知っていますか。何か月も激しいせきが続く、ワクチン未接種の乳児がかかると、時には命に関わることもある怖い病気です。

しかし、今はワクチン接種が普及し、確かに乳児の百日ぜきは減ってきました。

ところが2、3年前から大人の百日ぜきが増加し始め、2006年からは乳児の感染数を上回ってきたのです。

### 百日ぜきとは

百日ぜきは百日ぜき菌という細菌が原因で発症します。感染者の唾液がせきで飛び散ってうつる感染症です。1958年からワクチン接種が始まりましたが、その後注射の副作用が発生し、1975年に一時中止となりました。1981年から現在の副作用の少ない3種混合ワクチン（ジフテリア、百日ぜき、破傷風）が開発され、定期予防接種となり現在に至っています。

予防接種をしていない乳児が感染すると、約1週間の潜伏期の後、せき、鼻水から始まり、徐々にせきが激しくなります。熱も出ないのに発作的に10回以上も途切れなく強くいせき込み（スタカート）となり、せきの後息を吸い込むとき、ヒューという笛のような音がしたり（whooping）、息が詰まって嘔吐（おうと）したりすることもあります。このような症状が1か月以上も続き、徐々に

に治っていきいます。乳児がかかった場合はこのような特徴的なせきと血液検査で比較的早くに診断されます。治療にはマクロライド系の抗生物質が使われ、早めに診断され薬が投与されれば他人に感染はしません。

### 大人の百日ぜきが増えた理由

ところが年長児や大人がかかった場合は、痰の出ない乾いたせきが長く続くだけの場合も多く、血液検査もあまり特徴的でないため見逃されやすく、他人にうつして感染が広がってしまいうことも少なくないのです。それに加え、乳児のときに打ったワクチンの効果が10数年でなくなってしまう人がいたり、ワクチンと少し違うタイプの百日ぜき菌が出てきたことから、大人の百日ぜきが増加してきたと思われる。

### 乾いたせき

痰が出ない乾いたせきが長い間出る病気が百日ぜき以外にもみられます。鼻水が口の中に流れてきてのどを刺激して出るせき、喘息のようにぜいぜいしなくてもアレルギーで出るせき喘息、ある種の血圧の薬で乾いたせきが出ることもあります。

また、風邪の後のどが過敏になつて出るせきや、マイコプラズマ感染症などでも乾いたせきが続く病気です。このような乾いたせきが2週間以上続く患者さんの12〜26割に百日ぜきの感染がみられるという報告もあります。したがって、皆さんが乳児の感染

のときにみられるような発作性のせきが続くときはもちろんのこと、乾いたせきが2週間以上続く場合は、百日ぜきも疑ってみるのが重要です。

### 大人の百日ぜきの診断

大人の場合、血液検査があまり特徴的でないというものの、診断の目安にはなります。本当はせきが出始めたときと、その2週間後の2回の血液検査で百日ぜきの抗体が上昇した場合に正確な診断ができるのですが、普通はしばらく経過してから病院に行きますから、1回の血液検査で診断することになります。

### 治療

百日ぜき菌そのものは、マクロライド系という抗生物質を病気の初期に約10日間飲めば、他人にうつることはありません。しかし、せきは頑固でコデインという強いせき止めや、時には喘息の治療薬などの併用も必要になります。

### 今後の展望

百日ぜきは、今までは大人に感染するという認識が薄く、残念ながら大人の場合は診断基準も未完成です。今後感染を拡大させないためには、まずせきが2週間以上続いた場合は、早めに医療機関を受診することが大切と考えます。



※当番医は変更にもあります。確認してからお出かけください。

## 日曜・休日に実施している医療機関

午前10:00～午後4:00

月日	場所	診療所名	科目	☎(048)	場所	診療所名	科目	☎(048)
5	朝霞	くろた内科クリニック	内・消	450-7711	志木	はんだ内科クリニック	内・胃・循・小	486-2327
	朝霞	ひろせこどもクリニック	小・アレ・内	460-2900	新座	城西医院	内・呼	042-421-9321
4	和光	和光駅前クリニック	外・内・小・整・消・肛・リハ	460-3466	朝霞	はまなか皮フ科クリニック	皮・アレ	476-1223
	新座	庄林医院	内・外・胃	477-3357	和光	萩原医院	産婦	461-2046
	朝霞	富岡医院	内・胃・小・循	461-7581	新座	わかばクリニック	内・アレ・循・小	489-5323

### ※4月の休日歯科応急診療所

実施日 4/5(日)・12(日)・19(日)  
受付時間 午前9時～11時30分  
場所 新座市休日歯科応急診療所（新座市保健センター）  
診察料 健康保険法の規定料金（保険証を必ずお持ちください。）  
問い合わせ ☎048-481-2211

### ※救急医療のお問い合わせ

●埼玉県救急医療情報センター  
☎048-824-4199  
●埼玉県南西部消防本部  
☎048-460-0123  
※小児救急電話相談  
●#8000（携帯電話からも相談可能）